

教科・領域	生活単元学習	学校・学部	特別支援学校（知的障害）高等部
単 元 名	食べ物の働きについて考えよう		
単元のねらい	・食べ物のはたらきを理解する。 ・自分で食事の献立を考える。		
I C T 機 器 の 活 用			
使 用 す る 機 器 等	iPad、iPhone、テレビ 食べものカード、ホワイトボード		
ね ら い	・食べ物のはたらきを理解して、栄養バランスよく料理カードを選ぶ。		
実 践 〔 機器の使い 方や工夫 〕	（１） 食べもののクイズをする。 「Keynote」で作成したプレゼン＜写真１＞をテレビに映して提示する。 ・パワーイエローマン（炭水化物）、むきむきレッドマン（たんぱく質）、おたすけグリーンマン（ビタミン群）のキャラクターの説明を提示する。 ・それぞれの食べ物が、どの色の栄養にあてはまるか、３択クイズをする。 生徒がキャラクターを選び直接画面にタッチすると＜写真２＞、インタラクティブリンクで○×のページにとび、音が出る。（「Pin Boo」を貼りつけて音声を出す） （２） 夕食の献立を考える。 ・食べものカードを栄養バランスよく選んでホワイトボードに貼り、夕食の献立を考える。＜写真３＞ （３） 考えた献立表を発表する。 ・献立カードを貼ったミニホワイトボードを iPad で写真に撮り、テレビに映して発表する。＜写真４＞		
効 果 改 善 点 等	＜効果＞ ・食べ物の栄養を考える際に iPad で作成した３択クイズを取り入れたことで、興味を持って活動に生き生きと参加する様子が見られた。 ・iPad は直接画面にタッチできるので、パソコンでのプレゼン提示よりも具体的に分かりやすく、生徒が実際に操作できるのでよかった。 ＜改善点＞ ・画面にうまくタッチできないと、他のページにとんでしまったり、反応しなかったりするので、指サックやタッチペン等の活用も必要だった。		

<写真1>

Key note で作成した「食べもののクイズ」



<写真2>

実際に生徒がタッチしている様子



<写真3>

3つの栄養グループから、食べもののカードを選び、夕食の献立を考える活動。



<写真4>

iPhone で撮影した献立カードをテレビに映して発表する場面。

